

Tokuyama College		Year	2022		Course Title	Urban and Environmental Planning	
Course Information							
Course Code		0033		Course Category		Specialized / Elective	
Class Format		Lecture		Credits		Academic Credit: 2	
Department		Environmental and Civil Engineering Course		Student Grade		Adv. 2nd	
Term		First Semester		Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials		「環境計画総論」石井一郎他 鹿島出版会、教員作成の学習シート					
Instructor		Emoto Akemi					
Course Objectives							
到達目標1.都市環境計画や環境デザインの基本を理解し、調査・計画のための手法を使うことができる。							
到達目標2.現状分析とそれに基づく計画立案ができる。							
到達目標3.演習課題を通じて、プランナー・設計者としての応用力を発揮できる。							
Rubric							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
到達目標1.		基本を熟知し、複数の調査・計画の手法を使いこなせる。		基本を理解し、調査・計画の手法として活用できる。		都市環境計画や環境デザインの基本を理解しておらず、調査・計画手法として活用できない。	
到達目標2.		多面的に現状分析ができ、それに基づく計画立案が複数案提案できる。		現状分析とそれに基づく計画立案ができる。		現状分析が未熟で、計画立案に結び付けることができない。	
到達目標3.		演習課題を通じて、専門的な環境計画・環境デザインの提案ができる。		演習課題を通じて、環境計画・環境デザインの提案ができる。		演習課題を通じた環境計画・環境デザインの提案ができない。	
Assigned Department Objectives							
到達目標 C 1 JABEE d-1							
Teaching Method							
Outline		都市環境計画・環境デザインの基本を理解し、調査や計画策定能力を身につける。演習課題を通じて、現状分析とそれにもとづく計画立案を行い、プレゼンテーションを行うことで、プランナー、設計者としての応用力を身に付けさせる。基本的にディスカッションを重視する。地球環境問題や都市環境問題を正しく理解し、持続可能な循環型社会の形成のための様々な法体系や手法等の各論及び環境と景観まちづくり、都市環境計画の立案や環境マネジメントに関わる教養と知識、技術を体系的、実践的に学習する。					
Style		教科書「環境計画総論」と配布レジュメ、学習シートを中心に講義を行い、演習を行ったうえで、都市環境計画に関するプロジェクトを行う。学習シートの他、2つのプロジェクト演習を課すので、授業内のGWを含め授業以外の時間も活用して取り組み、主にディスカッションを通じて客観的に計画を行うプロセスを重視し、最終的にプレゼンテーションを行い、自己・相互の評価を行い、理解を深める。					
Notice		【関連科目】都市計画(土木建築工学科4年)、建築計画(土木建築工学科3年) 成績評価 試験 (50%) +レポート (20%) +演習1 (10%) +演習2 (20%) = 100% 演習の評価 事前提出 (40%) +プレゼン (20%) +事後修正 (40%) とする。事後修正についてはその内容に応じて評価点を与える。 課題未提出の場合は、演習課題の評価を加点しない。 レポートは、各回の学習シートなどを綴じたものとする。期末に提出を求める。					
Characteristics of Class / Division in Learning							
☒ Active Learning		☐ Aided by ICT		☒ Applicable to Remote Class		☒ Instructor Professionally Experienced	
Course Plan							
			Theme		Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	都市環境計画ガイダンス プロジェクト01 都市と農村のデザイン		講義全体の概要と学習の説明。プロジェクト01説明と読み解き。 小課題。		
		2nd	都市環境問題と課題		ヒートアイランド、ゲリラ豪雨、ビル風などの都市環境問題の課題と対策について理解できる。		
		3rd	日常生活における環境問題		社会経済と環境問題、エネルギー政策、ゴミ問題等の都市問題について理解できる。		
		4th	環境基本法と環境基本計画		環境基本法と関連法の基礎、再生可能エネルギーの都市利活用等について理解できる。		
		5th	循環型社会の形成		水・エネルギーの循環、省エネとリサイクル、循環型社会形成基本法、スマートシティについて理解できる。		
		6th	産業副産物等のリサイクル		産業副産物とりわけ建設副産物等のリサイクルの経緯、ゼロエミッション、バイオマスの活用などについて理解できる。		
		7th	自然再生、生物多様性保全、環境保全のまちづくり		自然再生の手法、生物多様性の基礎などについて理解できる。		
		8th	プロジェクト発表		プレゼンテーションと自己・相互評価		
	2nd Quarter	9th	美しいまちなみ景観の形成と保全・維持の仕組み プロジェクト02 まちなみ調査と都市デザイン		景観の概念と構成、都市景観と景観行政、景観法と景観条例、景観計画と景観調査・手法、景観まちづくりについて理解できる。 演習2 具体的な都市を設定して、まちなみ調査を行い、結果の分析とそれに基づく改善提案を行う。		

		10th	景観工学と景観計画	地域景観、農山漁村景観、文化的景観、景観計画の手法。地方自治体の景観計画（柳井市等）について理解できる。
		11th	環境アセスメント及び社会経済のグリーン化	環境アセスメント新エネルギー供給、環境ビジネスなどについて理解できる。
		12th	環境マネジメントとエコシステム	環境マネジメントシステムとLCA、CASBEE他について理解できる。
		13th	低炭素社会の構築に向けた取組み	環境教育・環境学習、環境保全・低炭素社会のまちづくりについて理解できる。
		14th	都市と防災	都市・地域・家庭・個人の防災・リスク管理などについて理解できる。
		15th	GW	提案・プレゼンテーションまとめ。
		16th	プロジェクト発表	プレゼンテーションと自己・相互評価

Evaluation Method and Weight (%)

	プロジェクト01	プロジェクト02	プレゼンテーション・表現力	プロジェクト遂行能力	学習シート	Total
Subtotal	35	35	10	10	10	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0
専門的能力	15	15	5	5	5	45
分野横断的能力	20	20	5	5	5	55